

義太夫節演奏会「一谷嫩軍記」組討の段

義太夫節は、浄瑠璃（語り物の三味線音楽）の一つで、1684年、大阪の道頓堀に竹本座を旗揚げした竹本義太夫（たけもと ぎだゆう 1651～1714）によって創始され、人形浄瑠璃のみならず、歌舞伎にも取り入れられて大きく発展しました。人形浄瑠璃や歌舞伎では男性によって演奏される義太夫節ですが、江戸時代から座敷や寄席で女性による演奏も行われ、明治中頃には「娘義太夫」として、明治の文豪たちにも愛されました。

2025年11月23日（日・祝） 開場 18時半 開演 19時

会場：沼津市若山牧水記念館ラウンジ 入場料：2000円（要予約・定員 30名）

●ご予約・お問い合わせ／沼津市若山牧水記念館

電話・FAX 055-962-0424

bokusui@thn.ne.jp

■義太夫節 太夫

竹本千香（たけもと ちか）

長泉町出身。本名は岡田千香子。国立音楽大学声楽学科卒業。パリのカミーユ・モラーヌの元でフランス歌曲の研鑽を積む一方、日本歌曲の研究のため、1996-2000年に（故）清元延以都喜より清元節（浄瑠璃のひとつ）の手ほどきを受ける。2008年より女流義太夫人間国宝竹本駒之助に師事。2022年に上野の本覚寺本堂にて義太夫節演奏会を開催。今回が竹本千香として初の演奏会となる。また、2009年に小唄扇派に入門し、家元扇よし和から小唄と三味線（爪弾き）を学ぶ。現在は扇和千香（おうぎ かずちか）として、国立劇場、三越劇場などの舞台やNHK FM ラジオ『邦楽のひとつとき』にて、扇よし和の糸方（三味線）をつとめる。2016年、即興ユニット「鶴魂」（ぬえたま）を玉響海月（たまゆら くらげ）と共に結成し、玉響海星（たまゆら ひと）として薩摩琵琶とヴォイスを担当。ライブハウス、お寺、ギャラリーなどで、エレクトロニクス（ノイズ）との掛け合いによる究極の声と語りの可能性を探究している。

■義太夫節 三味線方

鶴澤津賀花（つるざわ つかはな）

福井市出身。ふくいブランド大使。横須賀市在住。1995年、武蔵野音楽大学音楽部音楽学学科卒業。学生時代に人形浄瑠璃文楽と出会い、義太夫三味線に魅了される。1998年、女流義太夫人間国宝 竹本駒之助に入門。2001年、国立演芸場にて初舞台。2006年、文化庁新進芸術家国内研修員として三味線を人形浄瑠璃文楽座三味線方 六世鶴澤燕三に師事。2007年、文化庁芸術団体人材育成支援事業研修員。2009年、第10回（公財）日本伝統文化振興財団「邦楽技能者オーディション」合格。2017年、第38回松尾芸能賞新人賞受賞。現在、東京、神奈川を中心に全国各地で演奏活動を行う他、NHK FM ラジオ『邦楽のひとつとき』に出演。また、地元横須賀市の小中学校で義太夫節体験授業を行い、普及活動にも力を入れている。（一社）義太夫協会所属。横浜邦楽邦舞家協会会員。

主催：公益社団法人沼津牧水会 後援：沼津市教育委員会